

# 紫原・西紫原中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和5年7月18日(火)18:00~19:00

場所:紫原福祉館 洋室

令和5年10月  
鹿児島市 市民協働課

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者   | 発言内容                           | 市長回答   | 関係部局                | 検討結果、今後の方針等  |
|----|-------|--------------------------------|--|---------------------|--|
| 1  | 志學館大学 | どのようなやり方や、対話意思決定の方法で市政を進めているか。 | <p>どのようなやり方で政策ができていくのかについて、そもそも政策事業というものは、市民の方々の困りごとを解決するためであり、どのようなことでお困りで、どのような課題を持っているのか、把握することから始まる。これにはいろんな流れがあり、例えば町内会をはじめ、地域の団体の皆様からの声や市民の代表である市議会の皆様から普段の活動や、議会の質問などを通じて課題が寄せられることもある。そして今日のように、私が直接聞く機会もある。このようなことを通じて、まず何が課題となっているのか、次にこれをどうしたら解決できるのか、積み上げていくような政策を作る流れになる。その中で継続した課題も多い。</p> <p>また、市では若い職員との対話に取り組んでおり、職員提案制度というものを毎年実施している。これは、自分がいる課だけではなく、自由に応募してもらって、優秀なものを表彰し、市政に取り入れていくものである。</p> <p>他にも、意思決定の方法として、「学生さんと語る会」もあり、ちょうど先般、鹿児島大学で行ったところである。</p> <p>また、私と市職員との意見交換も行っており、庁内で募集し、4、5人のグループで市長室で30分から1時間語るということを、確か月1から2回程度行っている。</p> | 総務局<br>企画財政局<br>市民局 | <p>【総務局】<br/>市長回答のとおり。</p> <p>【企画財政局】<br/>市長回答のとおり。</p> <p>【市民局】<br/>市長回答のとおり。</p> |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者   | 発言内容  | 市長回答  | 関係部局         | 検討結果、今後の方針等   |
|----|-------|---|---|--------------|---|
| 2  | 志學館大学 | <p>我々学生の中で、鹿児島県の活性化について、交通システムのICT化や、天文館などの中心市街地の再開発、子育て支援に関心が集まっている。</p> <p>今後作ろうとされているスタジアムの利用なども含めて、どのようなイベントを行う予定なのか。</p> | <p>天文館を含め、まちづくりでは、街にどのくらい購買力、つまり物を買う力があるか意識しなければならない。</p> <p>「まちの活性化」において、鹿児島市の購買力が限られている中で、中心市街地活性化だけを行うと、周りはさびれてしまう。例えば、人が減っていき、地域の購買力が落ちるなか、新しいカフェができたとして、このカフェは当たり、流行るかもしれないが、場合によっては昔からあるカフェが潰れてしまう。</p> <p>そのため、市に入るお金の量をどのように増やしていくかということを考えている。</p> <p>そこで、中心市街地活性化の中で考えているのが、市外・県外・国外からもお客さんを呼びこめるスタジアムという軸を作ることである。</p> <p>例えばユナイテッドがJⅡに上がった場合には、大体500人から1000人ぐらいの相手方チームの関係者が来て、20試合で1万人から2万人ぐらい来るとすると、1人3万から5万円ぐらい使うのでそれだけお金が入る。</p> <p>さらに言えば、新しいスタジアムにランドマークとしての機能を持たせたいと思っている。</p> <p>なぜかという、シドニーにオペラハウスという建物があるが、そこでオペラを見る人はほとんどいない。しかし、オペラを見なくても、そこに行く。もう一つ、バンクーバーにカナダプレースというところがあり、これも会議場兼クルーズ船のターミナルになっているが、展望台にもなっており、港が一望できるので、クルーズ船に乗る訳ではないが、人が集まる。</p> <p>そういったまちのシンボルとなる市外・県外・国外から人が呼べるスタジアムを軸に、市民の皆さんも含めて、市外・県外・国外から来る人の流れをつくり出したいと考えている。</p> <p>鹿児島市の人が減る以上、よそから人を呼ばなければ、どこかが儲かる結果、どこかがしぼむという事になりかねない。</p> <p>このことを常に強く意識しながら、外からの人の流れをどう創り出すか、お金をどう使ってもらおうのかを考えて、色々取り組んでいる。</p> | 観光交流局        | <p>【観光交流局】<br/>市長回答のとおり。</p>  |
| 3  | 志學館大学 | <p>若者に人気のある鹿児島市となるために、これまでの政策決定のプロセスの固定観念や既存の関係をこえた柔軟な対応・企画として、市長や県知事、そして私たち大学生を含めて、これからの鹿児島市について話し合う機会をいただきたい。</p>           | <p>「知事・市長と学生と一緒に協議する機会」について、私は大歓迎なので、ぜひ大学の方で考えてみてください。呼ばれたら喜んで伺う。</p>   | 企画財政局<br>市民局 | <p>【企画財政局】<br/>「若者にとって鹿児島市がどういったまちであれば住みたいと思うか」をテーマに、市長と若者（大学生、20代～30代の社会人）との座談会を9月に開催し、意見交換を行ったところである。</p> <p>【市民局】<br/>大学等での講義の中で、市長との意見交換の場を設けている。</p> |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者         | 発言内容  | 市長回答   | 関係部局   | 検討結果、今後の方針等  |
|----|-------------|---|--|--------|--|
| 4  | 鹿児島純心女子短期大学 | <p>保育士不足と言われている鹿児島市は、奨学金の補助や給与の支給をしたりしているが、短大に入ってから制度を知ることが多く、高校の時に知っていれば良かったという制度が多くあった。</p> <p>保育士不足と言われており、目指す人も少なくなっていると思うので、保育士を目指す人を増やすためにも、中学校や高校でも制度をもっと周知させた方がいいのではないかと。</p> | <p>奨学金返還の補助や保育士の給与アップを去年から始めたが、制度のPRがこれからの課題だと思うので、しっかりと知っていただけるよう、取り組んでいきたい。</p>  | こども未来局 | <p>【こども未来局】</p> <p>保育士等奨学金返済補助金をはじめとした本市の補助金のPRにつきましては、市政広報番組、本市公式SNSや市民のひろば等を活用しているところである。また学生向けの保育所等の魅力発信事業において、「保育の魅力まるわかりハンドブック」や「保育の魅力広報紙」を作成し、市内の高校や九州内の指定保育士養成施設等へ配布しているところである。</p> <p>このほか、「保育士カフェ」や「保育士出前講座」では、高校生と保育士等の交流だけでなく、ハンドブックや広報紙を学生や保護者等へ配布し、本市の補助金について周知している。</p> <p>今後とも機会を捉えて、制度の周知に取り組んでいく。</p> |
| 5  | 鹿児島純心女子短期大学 | <p>観光スポットの周辺に子供たちが安心して遊び、大人もゆっくり楽しめるスペースを作っていただきたい。</p>   | <p>私も今子供を連れて遊びに行く事が頻繁にある。</p> <p>今まで気づかなかったが、大人1人で行くのは違い、子供を連れていくなかなか大変で、どのようなものがあれば助かるか、身に染みて分かったところである。</p> <p>時々子供を連れて、鉄道に乗って旅に行ったりしており、その中で民間の取組を見ると、子供と一緒に過ごしやすいシステムがよく出来ている。例えばスポーツ施設で、日本ハムが札幌に新しいエスコンフィールドを作った。ここはうまくできており、お金を払わなくても野球場の周りに遊具が沢山あり、子供が遊ぶスペースがある。また、球場の中に入っても、子供が3時間も野球を見ることは大変なので、有料にはなるが子供と一緒に遊べる遊び場があったり、子供と一緒に来ることを大前提として作られている。</p> <p>私はスタジアムで是非このようなことをやりたいと考えている。試合の無い日でもその周りの遊具で遊べたり、雨の日でもその中で子供が楽しめる場所を作るとは絶対必須だろうと思っており、このようなアイデアには著作権がないので、良い所はどんどん取り入れていきたいと思う。</p> | 観光交流局  | <p>【観光交流局】</p> <p>スタジアムの複合化については、令和4年度の需要予測調査等の結果を参考に今後検討したい。</p> <p>スタジアムの機能・規模感については、各面から意見をいただくとともに、水族館との連携や周辺での様々な施設の整備状況も踏まえながら検討したい。</p>   |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者                  | 発言内容  | 市長回答   | 関係部局       | 検討結果、今後の方針等   |
|----|----------------------|---|--|------------|---|
| 6  | 紫原校区<br>まちづくり<br>協議会 | <p>市長もご存知の通り彦四郎川が、地下に埋設され、南新町側に出ている。平成2年2月1日出前講座でいろんな数値を出していただいた結果、排水断面不足になっており、実際その数値からいくと100ミリの雨が降れば排水許容量をオーバーすることが分かった。実際、現在の雨でも床上浸水が起きている箇所がある。また、地獄谷と呼ばれる、ちょうど水が噴き出してくる周辺からこちら側（紫原福祉館）は昔谷間で、そこを埋め立てて造成している。当然しっかりと造成してあると思うが、亀裂が入っているところがある。</p> <p>数年前の熱海のようにこの大地が流れるとは思っていないが、やはり怖いので市の方でしっかりと何か起こるたびに説明を住民にしていきたい、そして、心のケアもお願いしたい。</p> <p>また、大雨時の排水断面不足に対しては、できれば今後、一時的な貯水池を作るなり、もしくは勾配の可能な範囲で排水の分水を考えていただきたい。</p> <p>そして、これを市の計画に具体的に載せていただけないか。</p> | <p>昨今気候が変動し、雨の降り方も変わってきている中で、鹿児島市では、雨が降った時に雨水をどこにどう流すのかといった計画を策定をしている。それに基づいて、今後どこから手をつけていくのかということを検討していくので、本日いただいた要望書等を踏まえて取り組んでいきたい。</p> <p>また、国から目安が示されたところは常に点検をしているが、盛土で団地を造成したところがあるので、不安が生じないように、逐次、丁寧に説明を行ってまいりたい。</p> | 建設局<br>水道局 | <p><b>【建設局】</b><br/>本市では令和元年度から宅地耐震化調査事業を開始し、大規模盛土造成地マップの作成・公表、現地確認等を順次行っている。</p> <p>ご相談の区域の大規模盛土造成地については、令和2年度に現地確認を行い、盛土末端部からの地下水の出水や盛土全体の滑動崩落を示唆するような擁壁の亀裂等の変状は確認されていない。</p> <p>地域の皆様方からの情報提供なども頂きながら、今後も引き続き現地の観察等を行っていくこととしている。</p> <p><b>【水道局】</b><br/>本年度策定した雨水管理総合計画において、ハード対策を優先的に行う、重点地区を設定し、当面、中期、長期と段階的に整備を進めることとしている。</p> <p>このうち、清和三丁目や紫原二丁目など4ブロックについては、当面整備するブロックとして位置付け、令和6年度に公共下水道事業計画変更、7年度以降に実施設計を行い、着工する予定としている。</p> |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者                  | 発言内容   | 市長回答  | 関係部局       | 検討結果、今後の方針等  |
|----|----------------------|--|---|------------|--|
| 7  | 紫原校区<br>まちづくり<br>協議会 | <p>私が町内会長になってから思うことは、町内会の加入率がどんどん下がっているということである。その原因は高齢化によって役員をする方々が減っていることに加え、役員をやりたくない方や色々なトラブルがあり入っていない方が増えていることにある。</p> <p>しかし行政は、何かあると町内会に全部振ってきて、さまざまな災害の情報や、生きるための情報、講座など、とにかく町内会を通じて情報伝達する側面が強い。</p> <p>そのため、緊急時に何かがあったときに備えて、冷蔵庫にこういうものを入れておきましょうという案内があったとしても町内会に入っていない人にはその情報が届かない。</p> <p>防災には要援護者であったり、いろいろな方のマイタイムラインを作ってしっかりと命を助けていかなければならないが、そのような流れが滞っているのは、町内会がうまくいってないからだと認識している。</p> <p>情報の伝え方が変わってきており、若者たちもいる町なので、鹿児島市が今後、町内会だけを頼りに情報発信するのではなく、その辺の見解を教えてください。</p> | <p>町内会の質問の件で、役員の負担をどれだけ減らせるかということは、今後加入率を上げていく上で非常に重要だと思う。</p> <p>どの町内会でも発生する共通の仕事の典型例が町内会費を集めたり、回覧版を回したりすることである。町内会費の集金に関してITの力を導入する実証実験を行っている。今後は、このようなITを使った負担軽減を全市に広げていきたいと思っている。そして、ご指摘にあった、情報をどのように伝えていくのかについてもITの力を活用して、近い将来、市民向けのアプリを導入したいと思っている。</p> <p>また、行政の悩み所は、伝えたい情報が沢山あるところである。情報が多くなればなるほど、受ける市民の皆さんから見たら、自分に関係のある情報がどこなのか分かりにくくなってしまう。</p> <p>例えば、「市民のひろば」の中にも、高齢者や若者、子育て世帯向けの情報もある。盛り込めば盛り込む程、多くの情報が記載されるが、自分が必要とする情報が逆に見つけにくくなってしまいが悩み所である。</p> <p>それを解決する方法として、例えば現在部分的にLINEで行っている、住んでいる地域・年代、興味があることなどを打ち込んでおけば、それに応じた情報がトップに表示されるといった仕組みを今後広げていきたいと思っており、検討中である。</p> <p>近い将来、このアプリを開けば市のいろんな情報の中で、自分にとって必要性が高いものから表示されるサービスを提供していきたいと思っている。</p> | 総務局<br>市民局 | <p>【総務局】<br/>市長回答のとおり。</p> <p>【市民局】<br/>市長回答のとおり。</p>  |
| 8  | 紫原校区<br>まちづくり<br>協議会 | <p>実は、数年前に紫原中校区、西紫原中校区の紫原台地について、今後の都市計画について話し合いをしていきたいと思いますという声を市の担当者からいただいていた。市を通じて紫原と西紫原のいろんな方々と話し合いをしていく場ができ、接点ができると期待していたが、そのあとコロナ禍であったこともあり、一切声掛けがなく、先日いきなり都市計画の書面が出された。</p> <p>市はそのようなことが非常に多いため、この辺をより丁寧にしていただきたい。また、今後の紫原台地の都市計画を進めていく上で、そのような話し合いの場を作るという計画があるのかなのか、ないのであればぜひ作っていただきたい。</p>   | <p>都市計画の話し合いについては、どういう経緯だったのかを調べた上で、後日回答させていただきたい。私も初めて伺ったので、これがどのような経緯だったのかを踏まえた上で、今後の対応を考えていきたい。</p>  | 建設局        | <p>【建設局】<br/>数年前の都市計画についての話し合いは、住宅団地の活性化についての意見交換会のことで、先日出された都市計画の書面は、概ね10年ごとに行う全市的な都市計画見直しについての市民広報紙のことであり、両者は別の内容である。</p> <p>なお、住宅団地の活性化については、コミュニティ協議会等の意向を確認したうえで、意見交換会やワークショップ開催等の希望があれば、支援に向けて団体側と調整したい。</p> |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者   | 発言内容   | 市長回答  | 関係部局         | 検討結果、今後の方針等   |
|----|-------|--|---|--------------|---|
| 9  | 広木町内会 | <p>広木町内会は、広木小校区ではない。41年前に、向陽小が設立した時に広木小校区から離されて向陽小校区へ入ったという過去がある。その中で子供たちは中学生になると、紫原中・西紫原中に通っている。</p> <p>他の市内の地域でもあると思うが、広木町内会内で、消防・警察が西署・南署に分かれている実態がある。田上町並びに広木1丁目から3丁目が西署の管轄であり、向陽1・2丁目が南署管轄である。</p> <p>今年から町内会長として働いている中で、それぞれ南管轄と西管轄の会議に出席しないといけないことがある。分担金等のお金のことであれば支払えばいいが、会合に出席するとなれば、どちらかを欠席しないといけないといったやりくりが必要になり、あつという間に有休消化してしまい、1年間で数年分の有休消化という形にもなってしまう。夜の会合であれば出席できる時もあるが、昼の会合であったり遠方での会合となるとそうもいかず、このような負担を知っていたら、おそらく私は町内会長をやらなかったと思う。</p> <p>何とかやりくりしようと思っても町内会長の負担が大きく、やりくりが難しい。先ほど紫原校区まちづくり協議会の方で話があったが、役員の成り手がいない。少しでも役員の負担が何とかならないものかと思う。</p> <p>役員の負担を分担できたらいいが、町内会長でないと出席できないといった限定などを何とかできないものか。</p> | <p>この西と南の管轄の関係については、特に広木町内会が置かれた特殊な事情を鑑みて、このような負担が掛からない様にする方法を、特に消防関係の方で考えてみたいと思う。</p> <p>また、警察は県の管轄のため、県の方にはご意見があったという事をお伝えをしたい。</p> | 危機管理局<br>消防局 | <p><b>【危機管理局】</b><br/>発言者に確認し、防犯団体連合会の総会が西地区と南地区で開催されており、町内会長以外でも出席できるようにしてほしいとのことであった。両地区の防犯団体連合会に確認したところ、「町内会単位で出席を依頼しているため便宜上町内会長に案内を送付しているが、代理の出席も可能であるので、個別に相談してほしい」とのことである。</p> <p><b>【消防局】</b><br/>消防局では、各消防署単位で出席案内を行っている会議は、現在のところなく、また、その他の会議についても、全て任意出席であり、町内会長でなければ出席できないという条件もないところである。</p> <p>今後においても、各消防署間で連携を図り、二重の負担をお掛けすることがないように、対応してまいりたい。</p> |
| 10 | 広木町内会 | <p>先ほど市長も言われたように鹿児島市のIT化ということで、今回、町内会費のキャッシュレス化の検証に参加すると同時に、昨年度から銀行振込の方も取り組んでいる。</p> <p>ただ銀行振込にあたっては、個人情報関係等から町内会の会員名簿を作っていないため、町内会加入者全員の把握はできておらず、振込人がどこのどこの人間かという照合をするのに時間がかかっているという問題点がある。</p>  | <p>まず実証実験に手を挙げていただきありがとうございます。</p> <p>現在鹿児島にゆかりがあるIT企業の製品を使って実証実験を行っており、皆さんに使っていただいて、今後可能な範囲で使いやすい機能を、フィードバックをしていきたいと思う。</p>          | 市民局          | <p><b>【市民局】</b><br/>市長回答のとおり。</p>   |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者   | 発言内容   | 市長回答  | 関係部局   | 検討結果、今後の方針等   |
|----|-------|--|---|--|---|
| 11 | 広木町内会 | <p>町内会地域のW i F i化がまだ進んでいない。<br/>         どうしても広木は山の中にあるので、現在でも携帯、スマホが繋がりにくいところがあるが、それはお金で解決できると考える。<br/>         しかし、お金で解決できない部分もある。高齢者でいえば、スマホを持ってない方もいる中で、情報を伝達することができる具体策がないものかと考えている。また、「回覧板を見る時間はどのぐらいですか」とアンケートを行ったところ、次に回さないといけないため、3～5分ほど見て、そのまま次の人に回している例が出ている。IT化によって、もう少しみんなが自分の欲しい情報を取りやすいようにできたらと考えている。</p> | <p>高齢者の方にどのように情報を伝えていくのかというところで、先ほど申し上げた通り、町内会の回覧版の電子化の支援を行っているほか、スマホをはじめ使い方が慣れてない方への町内会等を対象とした使い方教室を行っている。<br/>         また、今後、各福祉館や放課後児童クラブにW i F i環境を整備していきたいと考えている。<br/>         このような事を通じて、スマホをはじめとしたIT環境が身近なものになるよう、そして高齢者の方にも身近なものになるよう取り組んでいきたい。</p> | <p>総務局<br/>         市民局<br/>         教育委員会</p> | <p><b>【総務局】</b><br/>         市長回答のとおり。<br/>         (スマホ講座) 地域公民館・福祉館でスマートフォン講習会を開催しており、個人で申込みいただくが、町内会等においても取り上げていただき、積極的に活用していただきたい。<br/>         (Wi-Fi) 本市DX推進計画においても地域のデジタル化として公共施設へのWi-Fi設置を推進することとしている。</p> <p><b>【市民局】</b><br/>         今年度より町内会等を対象とした、コミュニティ活動におけるデジタルツール活用講座を開催しており、回覧板のデジタル化等に取り組む町内会を引き続き支援してまいりたい。</p> <p><b>【教育委員会】</b><br/>         令和5年度は、スマートフォンの講座を生涯学習プラザ講座で5講座、地域公民館講座で36講座(前期17、夏季1、後期18)計画している。<br/>         生涯学習プラザ及び地域公民館で開設されているスマートフォン講座は非常にニーズが高いため、今後も、多くの方が学習できるよう講座の開設に努めたい。</p> |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者   | 発言内容  | 市長回答   | 関係部局 | 検討結果、今後の方針等  |
|----|-------|---|--|------|--|
| 12 | 志學館大学 | <p>チャットGPTなどの生成系AIがマイクロソフト等で実装されていて、誰でもどこでも使いやすくなっているが、どのように考えているか。</p> | <p>チャットGPTが話題に挙がっている。これは質問を入れるとすぐ詳しい答えを返してくれるという新しい技術で、私個人としては積極的に使いたいと思っている。</p> <p>ただ役所として、どのように使うかという点については2点解決しなければならない問題がある。</p> <p>1点目は著作権である。</p> <p>チャットGPTというものは、ネットに載っている様々な情報の中からもっともらしい情報を拾ってきて文章に作り上げていくというもので、下手をすると他人の文章をそのまま引っ張ってくる可能性がある。役所の内部で使用する文章であればいいが、最終的に私の記者発表での発表文だったり、挨拶文といった外に出す文章になったときに、「誰かが書いた文章と丸かぶりではないか」といったチェックが必要となる。</p> <p>2点目は、作成された情報が真実かどうかを見分けられる人が使わなければならないということである。</p> <p>特に学生の皆さんに伝えたいのが、ネットには間違っただけの情報も載っているということである。これは、無意識の間違いではなく意図的に嘘を書いて、特定の人に憎しみが行くように煽って攻撃させる人たちがいる。そして、チャットGPTが嘘を見抜けずに、嘘情報を交えて文章を作った時に問題が起こるということである。</p> <p>そのため、この2点をどう解決するべきかと思っているが、逆に言えば内部の検討で使う分には使いやすいので、ここから取り入れていきたい。</p> <p>そこで、ぜひ若い方にお伝えしたいのが、情報が本当か嘘かを見分ける力を養ってほしいということである。</p> <p>おそらく私が子供の頃までは、物を知っている人が偉かったが、ネットが出てきて、必ずしも物を知っている必要がなくなり、調べ方を知っている人が偉い時代になった。皆さんがこれから生きる時代は、ものの調べ方を知らなくても、情報が降ってくるが、降ってきた情報が本当か嘘かを見分ける力、情報リテラシーがこれからは強く皆さんには要求されるようになる。</p> <p>例えば、私の時代の情報源は本だった。本は誰でも出版できるわけではないので、きちんとした学者が書いたものや、自費出版するのにお金がかかるためわざわざ嘘の本を書いて人を騙そうという人はほとんどいなかった。ところが今はネットで誰でも簡単に情報発信できるので、平気で人をだますための嘘を流布できる様になった。</p> <p>そのため、私の頃までは、本に書かれていることは大体本当であるという信用があったが、皆さんが生きている時代は、降ってくる情報が本当なのかということをしっかり見分けなければならない。さらに言えば、そこを学ぶのが大学という場所で、皆さんはレポートを書かれると思うが、出典元をウィキペディアと書いてはいけないということである。一次情報に当たって、本当の情報か嘘か見極める訓練を行うことが、高等教育機関としての大学の役目である。</p> <p>したがって、怒りにかきたてられるような情報であっても、「この人むかつくから攻撃しよう」ではなく、「ちょっと待てよ」この人がこういうことを言ってる、悪い人だという情報源は何なのか、これは本当に信用できる情報源なのかを見分ける癖、一次情報に当たる癖というのを大学で学んでいただきたい。</p> | 総務局  | <p>【総務局】</p> <p>生成AIの活用については、個人情報や機密情報などの取扱いに留意するほか、生成された情報の正確性や著作権侵害の有無の確認など、利用指針等を適切に策定するとともに、業務に役立つ回答を引き出す利用技術の向上を図っていく必要があると考えている。</p> |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者                  | 発言内容  | 市長回答  | 関係部局                | 検討結果、今後の方針等   |
|----|----------------------|---|---|---------------------|---|
| 13 | 紫原校区<br>まちづくり<br>協議会 | <p>先ほどからIT化を進めるということで結構なことだと思うが、私どもの町内で言うと、全世帯数の半数以上は、70歳以上の世帯の人たちに、どうしたらよく伝わるのか、受ける側の問題がある。</p> <p>その付近を簡単に受け取れるような方法を考えていただきたい。</p> | <p>高齢者の方にも身近に感じていただくために、使うきっかけをどのように作っていくべきかだと思っている。</p> <p>そのためには、まず身近に教えてくれる人がいることが必要であり、今市として、地域単位で、スマートフォンを教えられる先生を育成しようとしており、まず興味がある方から使い方をお伝えして、そしてそこから周りの友達に広げてもらうといった取り組みを検討している。</p> <p>また、二つ目はスマホを軸としたサービスをいろいろ展開していきたいと思ってる。</p> <p>今日、高齢者でも半分以上がスマホを持つ時代になってきている中、皆さん、用途があれば使い方を覚えることができると思っている。例えばうちの母ももう七十三、四歳だが、LINEとか写真共有アプリを使いこなしていて、それは孫の子の写真が見たいとか、そういう理由で一気に使うようになっている。</p> | 総務局<br>市民局<br>教育委員会 | <p>【総務局】<br/>市長回答のとおり。</p> <p>【市民局】<br/>令和5年度より町内会等を対象とした、コミュニティ活動におけるデジタルツール活用講座を開催しており、回覧板のデジタル化等に取り組む町内会を引き続き支援してまいりたい。<br/>なお、桜島支所においては、「地域の魅力・活力共創事業」において、デジタル化による生活利便性向上に向けた取り組みとして、高齢者などがデジタルツールを活用できるように、デジタルサポーターを配置することとしており、令和5年度はその養成を行う。</p> <p>【教育委員会】<br/>令和5年度は、スマートフォンの講座を生涯学習プラザ講座で5講座、地域公民館講座で36講座（前期17、夏季1、後期18）計画している。<br/>生涯学習プラザ及び地域公民館で開設されているスマートフォン講座は非常にニーズが高いため、今後も、多くの方が学習できるよう講座の開設に努めたい。</p> |

(資料2) 発言要旨

| 番号 | 発言者                  | 発言内容   | 市長回答   | 関係部局 | 検討結果、今後の方針等  |
|----|----------------------|--|--|------|--|
| 14 | 紫原校区<br>まちづくり<br>協議会 | <p>公共施設の利用で今日が来月の分の抽選発表の日であった。</p> <p>しかし、不信な事が多く、デジタル戦略推進課といろいろ話をしたが、抽選のところまで業者が立ち入っているのではないかと、そうだとすればそれはいけないと思っている。</p> <p>やはり、市の施設を業者に運営を委託してるが、抽選まで業者に任せるべきではないと思う。市民の施設であるから、市の職員がそこはきちんと手綱を引いて業者を動かすべきではないかと考える。</p> | <p>抽選システムについて、業者の介入があってはならないし、ありえないことだと思う。そのようなことが当然ないように取り組んでいくとともに、疑念を持たれることがないように、今後とも取り組んでまいりたい。</p> | 総務局  | <p>【総務局】</p> <p>抽選はシステムによるプログラム処理で実施しており、今後も引き続き適切に対応していく。</p> |